

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年10月16日(2008.10.16)

【公表番号】特表2008-512548(P2008-512548A)

【公表日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2007-531234(P2007-531234)

【国際特許分類】

C 08 L 23/10 (2006.01)

C 08 L 23/08 (2006.01)

B 65 D 65/02 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/10

C 08 L 23/08

B 65 D 65/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月1日(2008.9.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) ポリプロピレンホモポリマー；ポリプロピレンおよびエチレンのランダムコポリマーまたはブロックコポリマー；およびポリプロピレン、エチレンおよび他の1種のオレフィンのランダムターポリマーまたはブロックターポリマーからなる群から選択される少なくとも1種のポリプロピレンポリマーと、

(b) 0.2～3重量%の少なくとも1種のE/X/Yコポリマー(ここで、Eはエチレンを含み、Xはビニルアセテートおよびアルキル(メタ)アクリル酸エステルからなる群から選択されるモノマーであり、およびYは、一酸化炭素；二酸化硫黄；アクリロニトリル；無水マレイン酸；マレイン酸ジエステル；(メタ)アクリル酸、マレイン酸モノエステル、イタコン酸、フマル酸、フマル酸モノエステル、およびそれらの塩；グリシジルアクリレート、グリシジルメタクリレート、およびグリシジルビニルエーテルからなる群から選択される1つまたは複数の追加のコモノマーであり；ここで、Xは、前記E/X/Yコポリマーの0～50重量%であり、Yは、前記E/X/Yコポリマーの0～35重量%であり、ここで、XおよびYの重量%は、両方が0であることはできず、およびEが残量である)と

を含むかまたはこれらから製造される組成物を含むかまたは該組成物から製造される造形物品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0106

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0106】

表5.EMA-2によるPP変性物の溶融温度および凍結温度

	PP対照	PP/1% EMA-2	PP/5% EMA-2
T <sub>m</sub> (°C)	162. 3	162. 5	162. 8
(J/g)	107. 4	104. 4	98. 1
T <sub>f</sub> (°C)	119. 2	116. 9	116. 0
(J/g)	105. 3	102. 3	96. 8

次に、本発明の好ましい態様を示す。

1. (a) ポリプロピレンホモポリマー；ポリプロピレンおよびエチレンのランダムコポリマーまたはブロックコポリマー；およびポリプロピレン、エチレンおよび他の1種のオレフィンのランダムター-ポリマーまたはブロックター-ポリマーからなる群から選択される少なくとも1種のポリプロピレンポリマーと、

(b) 0.2～3重量%の少なくとも1種のE/X/Yコポリマー(ここで、Eはエチレンを含み、Xはビニルアセテートおよびアルキル(メタ)アクリル酸エステルからなる群から選択されるモノマーであり、およびYは、一酸化炭素；二酸化硫黄；アクリロニトリル；無水マレイン酸；マレイン酸ジエステル；(メタ)アクリル酸、マレイン酸モノエステル、イタコン酸、フマル酸、フマル酸モノエステル、およびそれらの塩；グリシジルアクリレート、グリシジルメタクリレート、およびグリシジルビニルエーテルからなる群から選択される1つまたは複数の追加のコモノマーであり；ここで、Xは、前記E/X/Yコポリマーの0～50重量%であり、Yは、前記E/X/Yコポリマーの0～35重量%であり、ここで、XおよびYの重量%は、両方が0であることはできず、およびEが残量である)と

を含むかまたはこれらから製造される組成物を含むかまたは該組成物から製造される造形物品。

2. 組成物が、

(a) 少なくとも1種のポリプロピレンポリマーと、

(b) 0.2～3重量%の少なくとも1種のエチレン/アルキルアクリレートコポリマーと

を含むか、またはこれらから製造され、ここで、成分(b)が好ましくは0.2～1.5重量%の量で存在し、および前記アルキルアクリレートが、前記エチレン/アルキルアクリレートコポリマー中に好ましくは約5～約40重量%の範囲で存在する上記1に記載の物品。

3. 前記アルキルアクリレートが、メチルアクリレート、エチルアクリレート、およびブチルアクリレート、またはこれらの2つ以上の組み合わせであり、および好ましくはメチルアクリレートである上記1または2に記載の物品。

4. 成分(b)が、0.2～0.5重量%、または0.2～1重量%、または1を超えて0.5重量%以下の量で存在する上記1～3のいずれか一項に記載の物品。

5. (c) 0.01～40重量%、または0.1～15重量%の、充填剤、艶消剤、紫外線安定剤、顔料および他の添加剤からなる群から選択される少なくとも1種の追加の成分を追加で含む組成物を含むかまたは該組成物から製造される上記1～4のいずれか一項に記載の物品。

6. 前記エチレン/アルキルアクリレートコポリマーが、管型反応器製エチレン/アルキルアクリレートコポリマーを含む上記1～5のいずれか一項に記載の物品。

7. 熱成形によって製造される上記1～6のいずれか一項に記載の物品。

8. 射出成形、圧縮成形、吹込成形または異形押出し成形である、溶融押出し成形法によって調製される上記1～7のいずれか一項に記載の物品。

9. 成形キャップである上記1～8のいずれか一項に記載の物品。

10. (a) 少なくとも1種のポリプロピレンポリマーと、(b) 0.2～1重量%の少なくとも1種のエチレン/アルキルアクリレートコポリマーであって、好ましくは管型反

応器製エチレン／アルキルアクリレートコポリマーとを含む組成物から調製される上記 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の物品。

11. 異形押出し成形によって調製され、および好ましくは管材である上記 10 に記載の物品。